








アンケート結果

○ 大熊町の社会教育施設整備に係る意識調査






Q-1 : あなたは大熊町民ですか

町民である	 62 point
町民ではない	 79 point






Q-2 : あなたは大熊町に住んでいますか

町内の一軒家や公営住宅などに居住している	 7 point
町で居住も就労もしていないが、町を訪れる機会がある	 44 point
町内の社員/職員寮に居住している	 39 point
町外居住だが、町内で働いている	 42 point
その他	 9 point

Q-3 : あなたは週にどの程度、大熊町に滞在していますか

ほぼ毎日	 28 point
平日のみ	 60 point
その他	 15 point
ほとんど滞在していない	 37 point
週末のみ	 1 point

Q-4 : 以下の施設のうち、現在、月におおむね1回以上利用する施設はありますか

公民館（市民交流センター等を含む）	 13 point
博物館（美術館含む）	 13 point
ない →Q10へ	 101 point
図書館	 27 point
公文書館	 1 point

Q-5 : 主にどこの施設を利用していますか？

--	--

大熊町内の施設	14 point
双葉郡内の施設	12 point
双葉郡を除く浜通り地域の施設	17 point
浜通り地域を除く県内の施設	9 point
県外の施設	15 point

Q-6 : その施設の主な利用目的を教えてください

常設展の観覧	5 point
講座、講演などのイベント	3 point
企画展の観覧	14 point
本や資料の貸出/返却	16 point
本や資料の閲覧/読書/視聴	21 point
地域の行事	5 point
自主学习	12 point
地域の人との交流	8 point
友人との交流	8 point
自主イベントの開催	2 point
その他	4 point

Q-7 : Q6で「その他」と答えた方に伺います。その目的を教えてください。

ジム

筋トレ

バトミントン

カフェの利用

銭湯、ジム

大熊町交流ゾーンにてトレーニング

運動

Q-8 : 町外の施設を利用している方に伺います。利用にあたり不便に感じていることはありますか

特に不便はない	19 point
大熊町に関する情報を得にくい	7 point
他の施設利用者との交流が持ちにくい	6 point

イベント情報などが把握しにくい	5 point
勤務先、居住先から遠い	12 point
その他	4 point
施設がある自治体の住民でないため受けられないサービスがある	6 point
大熊町に関する情報のほかに必要とする情報を得にくい	2 point

Q-9 : Q8で「その他」と答えた方に伺います。その内容を教えてください。

親近感が湧かない。

大熊町立図書館に比べて本が少ない

利用していない




図書館の時間外返却Boxがない

Q-10 : Q4で「ない」と答えた方に伺います。その理由を教えてください

生活圏内にある施設に必要なサービスがない	12 point
特に必要性を感じない	36 point
利用はしているが月1度以上ではない	14 point
生活圏内に利用できる施設がない	23 point
その他	15 point

Q-11 : 大熊町はJR大野駅周辺に新たに社会教育複合施設を整備しようとしています。あなたが新施設に求めること、期待することは何ですか

町の歩みや文化等の情報	43 point
町の現在の状況や観光地などの情報	39 point
1人または知人と立ち寄る居場所としての心地よさ	74 point
テレワークなど仕事しやすい環境	40 point
町の行事への参加	31 point
本や視聴覚資料などの利用・閲覧・貸出	42 point
大熊町に関わる人とのつながり	47 point

共通の趣味を持つ人とのつ ながり	 42 point
東日本大震災と原発事故に ついての情報	 22 point
その他	 11 point

Q-12 : Q11で「その他」と答えた方に伺います。その内容を教えてください

町外に住んでいるため、その住んでいる場所の施設を利用してるため

カジノなど、新たな施設を希望

デザイン性の重視。交流センターの様な現代建築とは思えないつまらない建物になってほしくない。使い勝手も悪く解放感もなく、隔離した使用様式は過去の遺物でしかない。無難な建築様式ではなく、学校の様な目を引く物をお願いしたい。

本格的な運動ができる施設

子供の屋内遊戯施設

小さい子供でも利用価値のあるものであれば、家族単位での利用も検討したい。

利用したいが、機会がない（平日は仕事、休みは大熊町以外の自宅に帰宅する）

カフェ等の大野駅の電車待ちで時間を潰せる施設

無料高速wifi、電車を待てるスペース、パソコンを開けるスペースとコンセント、ちょっとしたお土産+食料調達、スタバ的なもの






子供の知育発達に繋がる場

個人利用が出来る音楽練習室

子育て世代の支援

箱物を作る必要性がはたしてあるのか、利用する人もいない施設を作り、維持できるのか？

Q-13 : あなたが新施設を利用するとして、障害になりそうなことはありますか

特にない	 35 point
公共交通が発達していない	 54 point
生活圏から遠い	 88 point
必要なサービスを受けられ ており、施設の必要性を感じない	 8 point
その他	 6 point

Q-14 : Q13で「その他」と答えた方に伺います。その内容を教えてください

町民外の人利用が難しくないか

幼い子どもを連れて行きやすい雰囲気かどうか。

元の大熊町とは違う景色になって寂しい気持ちになりそう。

中・長時間利用を想定したときの飲食店や商業施設が不足していると感じた場合、わざわざ遠くから行こうとは思えない。

JR大野駅と大河原（生活圏）が遠い

大川原の寮に住んでおり駅だと遠い為

Q-15：社会教育複合施設の整備に向けて要望等あれば自由にお書きください

避難所になる施設(ゼロカーボンも進めているので、太陽光や蓄電池、自家発電などの設置も検討して、災害対策もしっかりと考えてほしい。)

震災前の大熊町の姿を後世に残すため、資料の収集保存に努めてほしい。今は必要ないかもしれないが、いつその資料が必要になるかもしれないので、今は価値がなくても大熊町に関係するものは収集保存してほしい。

居心地のいいカフェなどを日曜も営業の形で開いてほしい

検討経緯、費用、費用対効果を示しながら透明性をもって進めてほしい。

大学までの一貫学習とし、学費は取らないなど、
新たな人材、優秀な人材を呼び込む。
若い世代に対しての住みやすい環境づくりをお願いしたい。

Q12の内容にお願いします。

町の今後の展望などが具体的にわかるような施設にしてほしい。
例えば現在、帰還困難区域になっている地域が、どのように変化しうる可能性があるのか。

つまり、更地のままなのか？

個人が自分の土地を再開拓するのか？

企業や町のなどが主になり再開発を担うのか？

いくつかの想定できるケースを模型なども利用して
わかりやすく展示してもらえればありがたいです。

大川原をお願いします

普段から、檜葉と富岡の図書館を子どもと利用しており、大熊町の図書館が新設されるのをとても楽しみにしていました。今回、新たに教育複合施設が出来るということで、驚きました。様々な施設がもつ役割を明確にし、連携していくことが重要になってくるかと思います。個人的には、読み聞かせなど子ども向けのイベントがあればどんどん参加したいです！

気軽に立ち寄れること。

町のシンボリックな施設になるであろうと思います。

先々を見据え、さまざまな世代の方に受け入れられるような施設になる事を期待しています。

◆「読書の町」を継承するため、複合施設であることには留意しつつも、解体される旧町立図書館以上に図書館として魅力ある施設としてほしい。ただし、須賀川市のtetteのようなものは大熊町の規模感にそぐわないので、例えば太田市美術館・図書館のようなコンパクト感も重要だと考える。なお、大川原に建設される学び舎ゆめの森の図書館との差別化および連携も考慮してほしい。

◆一方で、公民館と図書館の部分は主に町民（内輪）向けのクローズドな空間であることを意識してほしい。博物館は来訪者向けに震災・原発事故を伝承するものになると理解しているが、公民館や図書館の部分も奇抜にしまうと悪い意味で「特別な場所」「見世物」となってしまう、町民が安心して集い利用できる空間にはならないと考える。

◆公文書館については、その運用も含めて入念な検討を進めてほしい。

町村単位での公文書館は非常に珍しいが、大熊には特に震災以降に価値ある公文書が多く生まれているので建設前からその収集・保存・整理を始めるなど、建物だけでなくきちんとした運用を検討すべきだと考える。可能であれば、関連する県や国、近隣町村の公文書等も扱えると全国的に価値のあるものになると思う。

◆また、新しい社会教育の姿や価値を発信できる場となれば尚よいと考える。

単に公民館図書館という空間を用意するだけでなく、そこで行われる社会教育・生涯学習の姿が全国に先駆けて「人生100年時代の地域での学び」を体現できるものになると、大熊の根源的な価値として魅力あるものになると思う。そのためには、検討の段階で多くの有識者・専門家（教育はもちろん建築やデジタルなど）との入念な議論を行い、非常に忙しいものとは想像するが、全国一の社会教育「環境」の構築に向けて妥協せず取り組んでもらいたい。

○以前の図書館の様な雰囲気施設の

○軽食やお茶などが出来る所

○一人でも、リラックス出来る空間

○住民票など発行していただける簡易的な役場機能

○なんでも相談窓口

○木々や草花など、外観も整えていただきたい

施設を中心に人が集まり、街づくりを展開していけるようなもの、また施設が都市のランドマークや観光資源としての役割を果たせるようなものになるような、魅力的な建物を期待します

駅周辺に学習スペースを併設した図書館があるとありがたいです。

蔵書は少なくとも構いませんが、近隣町村(いわき市や富岡町)の
図書をネットで予約して借りられると嬉しいです。

-
- ・子供の屋内遊戯施設が欲しい。
 - ・双葉郡在住だが、双葉郡に子供の声が溢れることを期待する。
 - ・上記が社会教育施設と複合していれば、赤ちゃん～お年寄りまで利用し易いと思う。

図書館、公民館、等があれば良いと思う。

震災前の大熊町の景色を意識して整備してほしい。

震災前の大熊町で見たことのないような造りの建物を作らないでほしい。

震災前の町のように学んだり、思い出にひたることができるスペースがほしい。

綺麗で便利で画期的な施設を作って新しい住民を増やすことも大切だけど、古い住民はそのような施設を全員が全員望んでいるわけではないと思うので、古い住民の意見も聞いて整備してほしい。

大熊町／町民に向けに留まらず、近隣市町村在住者、移住者、訪問者もハードル低く利用できる施設となってほしい（もちろん、町民優先部分はあっても良いと思います）

魅力ある施設

アクセスの良さ

生活できるくらいのインフラがあること

魅力ある施設

アクセスの良さ

生活できるくらいのインフラがあること

どうしても原発事故とそこからの復興という文脈に縛られた施設構成になるかもしれませんが、別の文脈から大熊町がどういった場所なのか、少しでも考えることができるような施設になれば、原発事故からの復興とは別の復興の道筋を与えてくれる施設になるのではないかと思います。期待しております。

楽器の練習ができる防音室が欲しい

小さくてもいいので演奏会や発表会ができるホールが欲しい（音響・照明設備を備えている）
くつろげるイトインスペースのような場所が欲しい
インターネット予約ができるようにして欲しい（予約・利用状況がネットから分かるようにして欲しい）
外の風を感じられるテラス席が欲しい
屋根付きの駐車場が欲しい（建物に入るまでに濡れないような設計）
ちょっとしたハンドメイド作品を販売できるようなレンタルBOXのスペースが欲しい
軽食の販売・Cafe等が欲しい

入館し易い雰囲気であって欲しい。
簡易な売店が欲しい。

支援して貰える方が居て、障がい(身体的、知的に)
を持った人も安心して活動ができる教室があると良い。。
障がいを持った家族も安心して落ち着いて、使える
施設にして欲しい。

新しい大熊町のシンボルとなるような施設になってほしい。読書の町、大熊としてまた復活してもらいたい。

今まで町の建物は他の市町村と比べ中途半端な大きさの施設だと感じてた。
今度の社会複合施設はどのようなのだろうか。
他所とは違い特色のある何度も通いたいと思う場所になればと思う。

なし

大きな会議室がほしいです。
ワークショップなど出来るような設備もあると良いです。
大きなイベントも出来る、コンサートなども出来るホールがあるとよいです。

施設整備のご成功お祈りしています。

図書館の蔵書には、是非カバーを外さず、カバーごとラッピングしてほしい。

Wi-Fiスポット

ここの施設に対する要望というより、野外学習の一環として、キャンプができたり、なにかアウトドア施設を充実させてほしいです。個人的にソロキャンプをしておりますが、この素晴らしい自然をより身近に、かつ子供たちにも体験学習ができるアウトドア施設の建造を是非検討願います。

個人利用が出来る音楽練習室(20m2程)を併設して欲しい

イオンのようなチェーンの安いスーパーが欲しい

公民館、図書館、博物館、公文書館の充実に加え、フリースペース（飲食可能な休憩空間）があれば良いと思う。住民の方々が、まずはこの施設で集い、語らい、そして安らげれば
利用の継続に繋がると思います。駐車場の確保も必要と思います。

豪華だが、稼働率が低く閑散とした施設は寒々しい。
設備の充実度は標準的でよいので、周囲の他の施設との調和や、
維持費なども考慮し、小ぶりでも回転率が上がって
利用者で溢れる活気のある施設となることを期待

社会教育複合施設とは、図書館、公民館、博物館、公文書館の機能とのことですので

- ・ 先ず、第一に町民の方が使いやすい施設であること、また誇りや愛着が持てる施設であること
- ・ 施設の名称も大切、大熊町の歴史や文化から、親しみが持て、かつ思わず「キーワード検索」したくなる魅力的な名称が付けばと思います
- ・ 帰還を考えていらっしゃる町民のかたや、大熊町に移住を考えていらっしゃる、特に「次代を築く世代」にとって魅力的な施設であること

・図書館・博物館は、コンセプトを明確にできればと思います。（図書館は、例えば「熊」ご縁に特化して、「熊のぶーさん」等、熊の絵本蔵書量なら「日本一」とか

・大熊町と言えば！！〇〇！！ここに埋まるものが鍵かなと感じます。→なければ、新しく一緒に作っていきましょう！！

・施設が大野駅周辺！！にも着目し、敢えてローカル線（矢札）に目を向けた「ゆるい企画」（例：公民館で地元のじっじ、ばっばと梨たべてお茶のみませんか！みたいな）

※社会教育複合施設は、町の方の物であります「大熊町」だけで捉えるのではなく、いわきの「湯本温泉」や、双葉町に立地する「原子力災害伝承館」や富岡の「アーカイブ施設やリブルン」、また、浪江の商業施設までも着目し、浜通りエリアの施設として、すみ分けと連続性が、回遊ルートとして、デザインされ、外からの交流人口の取り込みが、町の賑わい創出になると考えております。

私は、「震災」がきっかけで、福島にご縁を頂き、愛知県からいわきに復興関係の仕事できております。

新しくできる社会教育施設が、大熊町、浜通り、福島の皆様にとって「復興の象徴」となるようお願いを込めて（とりとめのない意見ご容赦願います）

公共の体育施設の整備、特に駅近傍に整備してほしい

震災前の大熊町を知ることができる資料の収集保存、テーマを決めた企画展の実施。

原子力発電と今回の事故に関する資料の収集。

我々がここで生きた証を残したい！

震災前に読書の町といわれその象徴的な施設であった大熊町図書館の機能を引き継ぐ社会教育複合施設が町民さん、外からの人が集まり新しい考え、思想が生まれ、多くの出会いが生まれる

施設となることを期待しています。要望事項は2点です。

・私は、期待するだけでなく大熊町さんに長くお世話になっている者として社会教育複合施設の計画、整備にも関与できればと思っております。

つきましては、町役場内で行われている社会教育施設計画の検討状況を共有いただき議論にも参加できると考えています。

・また、施設の機能として期待するものは、展示・閲覧のみでなく解説・説明をする者が複数いることを期待します。

その人から臨場感ある町の文化・歴史・今や福島第一原発・中間貯蔵施設といった情報を入れていただくことで大熊町をより知ることができより好きになる人

が増えると思っています。

第1回ワークショップ参加者（石川洋一）

知育に目が向きがちではあるが、体育にも目を向ける必要が無いか検討してはいかがでしょうか？

スポーツセンターや野球場に替わる施設があると、町外からの利用も見込めると思います。

箱モノを作ったら目的達成、とらないように願っています。

誰もが利用しやすい施設と、其処から或いは其処までの移手段を整備願います。

・交通アクセスは今後も課題になると思われる。私有車を持っている住民の方は良いが、来訪者も増えると思われるので、レンタサイクルなどの施設があると良いのでは。

・図書館施設は富岡の教育の森でも利用者が多かった印象。イベントを行える集会スペースは活用できると考える。

大川原立地施設（役場・町関連施設・町営住宅・各社や寮）がある訳だから、

そこにいろいろと施設を足していった方がコンパクトシティにもなるし賑わいもすぐでてくるかと。

人々が集まる起点となる施設ができることを期待する。

その必要があるのか

町民の意見を尊重し、町民のための施設をつくって欲しい。町民や町民以外の人に無駄遣いと言われないようにして下さい。

国際社会も意識し、積極的な外国人の受け入れや外国人とのコミュニケーションが取れる場所を作ることで、子どもが国際感覚を養えたり、世界から見た日本などを意識出来るのではないかと思います。

役場に外国人の方がいらっしやいましたし、関心のある外国人は多いと思います。

図書や文化を通じた交流のできるイベントの充実

東京、いわき方面からの鉄道のアクセスを良くする必要がある。主な移動手段が自動車なので、駅周辺である必要性は少ない。

印刷

